ページ番号
1016785・1017123

こどもまんなかのまちづくり

「こどもの声を大切に、みんなで育む磐田の未来」

こども未来課
（iプラザ３階）
☎0538-37-2808
FAX 0538-37-4631

「こどもまんなか」とは

こどもや若者の視点に立ち、こどもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据える社会ビジョンです。すべてのこどもが健やかに幸せに成長できる環境づくりを、社会全体で目指します。

こどもまんなかキャッチフレーズ

市では、「こどもまんなか」キャッチフレーズを募集しました。投票総数866票とたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

最優秀作品

こどもの「笑顔」を、街の「まんなか」に。

キャッチフレーズは今後、市ホームページ・ポスターや庁内報・いわたこどもまんなか応援サポーターの宣誓書などさまざまな場面で使用していく予定です。



「こどもまんなか応援サポーター」を募集しています

「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、こどもや子育て世帯を応援する企業・団体を募集しています。既存の取り組みでの参画も、新たな取り組みも可能です。参画団体は市ホームページで紹介し、口ゴ入りの盾を贈呈します。

▼ご協力いただきたい取り組み

・こどもの居場所や活動の場を提供
・子育て世帯に配慮した働き方や職場環境を整える
・こどもや子育てを応援する地域活動

こどもたちが考える「これからの磐田」

市では、こどもの意見をまちづくりに生かすため、令和7年度から「こども・若者会議」を開催しています。

令和8年度は「いわたを再発見しよう」をテーマに、磐田市のよいところや気になるところ、「あったらいいな」と思うことなどを話し合っています。チームごとに意見を出し合い、磐田の「今」と「未来」について考えています。


▲会議を行うこどもたちの様子

こどもたちが考えたことや、こどもならではの視点を地域のさまざまな取り組みに生かすことは、「こどもまんなか」のまちづくりにつながります。市では、こどもの声を大切にしながら、その意見をまちづくりに生かし、「こどもまんなか」の考え方が市全体に広がっていくまちづくりを目指します。

参加したこどもたちの声

1. 貴重な経験ができて、とてもうれしいです。自分一人では気づけないことも知ることができて、楽しかったです。



2. 発表の準備が思うように進まないこともありましたが、人任せにせず、全員が積極的に取り組んだことで、最後は無事に発表をまとめ上げることができました。



11月は「秋のこどもまんなか月間」

「いわたこどもまんなか応援サポーター」をはじめ、企業・団体・自治体などと連携し、こどもや子育て世帯を社会全体で応援する機運づくりを進めています。

こどもたちが健やかに、幸せに成長できる社会を実現するために、私たち一人一人にできることがあります。

この「秋のこどもまんなか月間」を、こどもたちのために自分たちにできることを考える機会にしてみませんか。

ページ番号
1016945

フードリボンプロジェクトを始めます

みんなで、こどもたちを見守るまちへ

こども未来課
（iプラザ3階）
☎0538-37-2808
FAX0538-37-4631

市は、こどもたちが地域の中で安心して食事をし、過ごすことができる環境づくりを進めるため、一般社団法人ロングスプーン協会が運営する「フードリボンプロジェクト」に参画します。

飲食店をはじめとする地域の皆さんと連携し、食事を通じてこどもたちを地域全体で見守る仕組みをつくっていきます。

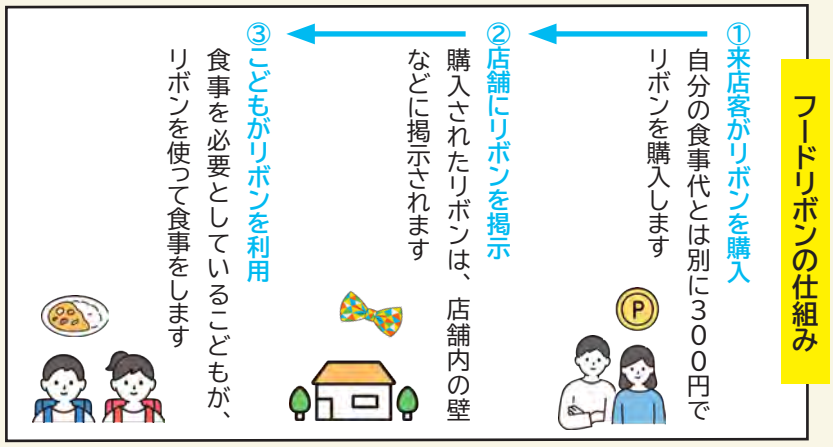
フードリボンとは

地域の飲食店と市民の皆さんが、こどもたちの食事を支える取り組みです。

来店客が自分の食事代に加えて300円の「リボン」を購入すると、そのリボンがこどもの食事につながります。こどもは、店舗に掲示されたリボンを使って食事をすることができます。

食事をきっかけに、地域でこどもを見守り、こどもたちが安心して過ごせる居場所を増やしていくことを目指します。

フードリボンの仕組み



注意点

・こども1人につき1日1食で、大人は有料です
・提供される食事や利用方法は、店舗によって異なります
・300円程度で提供できる食事を想定しています



▲店舗にリボンを掲示する様子

市民のみなさまへお願い

こどもたちが地域の中で安心して過ごせるよう、私たちにできることから始めてみませんか。参加店舗でのリボンの購入や、取り組みを身近な人に伝えることも、こどもたちを支える大切な一歩です。一人一人の思いやりを、こどもたちの笑顔につなげていきましょう。

広域連携でこどもたちを支援

令和8年3月に掛川市が先行して参画し、同年10月2日に磐田市、袋井市、菊川市、森町も参画・連携しました。

市町の垣根を越えて連携し、地域全体でこどもや子育て家庭を食の面から支え、安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。

こどもたちを一緒に応援する飲食店・企業を募集します

市では、フードリボンの取り組みに賛同し、ご協力いただける飲食店を募集しています。

協力店舗には運用に必要なツールを提供し、来店客から寄付された「リボン」を活用して、こどもたちに食事を提供していただきます。

協力店舗からの声

「こどもたちには、お腹いっぱい食べて、元気に笑顔で過ごしてほしい。」そんな思いからプロジェクトに参加しました。

プロジェクトを通して、こどもたちの笑顔が一つでも多く生まれたらうれしいです。

（協力店舗）
知久屋 豊田町店



参加を希望する店舗や、取り組みに関心のある飲食店の方は、こども未来課までお問い合わせください。

ページ番号
1012656

SPO☆CUL IWATAの取り組み

休日の中学校部活動が地域クラブ活動へ

放課後活動課
（西庁舎3階）
☎0538-37-4828
FAX 0538-36-1517

9月より、市内中学校の休日の部活動が従来の学校単位から切り離され、地域の多様な主体が支える「SPO☆CUL IWATA」のクラブ活動として本格的にスタートしました。

地域展開進捗状況

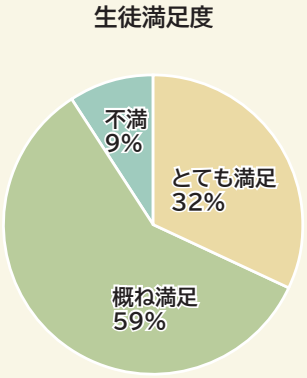
スタートにあたっては、指導者の確保や受け入れ体制の整備など、地域の皆さんや関係団体の皆さんにご理解とご協力をいただきました。初月となる9月には、1177人の中学生が参加しています。

学校の枠組みを超えて他校の生徒と交流し、互いに刺激を受けながら活動する姿も見られています。また、専門的な知識や経験を持つ地域の指導者から手厚い指導を受けることで、技術の向上に励んでいます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

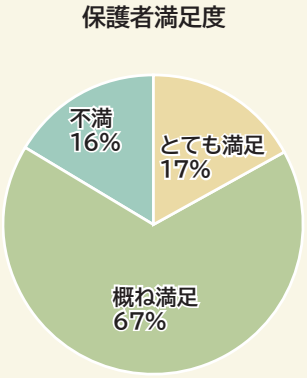
生徒・保護者満足度アンケート結果

「SPO☆CUL IWATA」の活動についてアンケートを実施しました。

保護者、生徒ともに8割以上の方が「とても満足」「概ね満足」と回答しました。



91%が満足と回答



84%が満足と回答

実際のクラブの様子

①吹奏楽クラブ「South Iwata Wind Ensemble」

現在、福田中学校を主な活動場所とし、約40人ほどが所属しているクラブです。音楽室には大迫力の演奏が鳴り響いています。

【生徒の声】

「部活動よりも人数が多くて、迫力のある演奏ができて楽しいです」

②陸上クラブ「TF磐田WEST EAST SOUTH」

磐田市陸上競技場を活動場所とし、市内3つの中学校から、学校の垣根を越えてそれぞれの目標に向かって頑張っています。

【生徒の声】

「競技場でライバルたちと切磋琢磨しながら活動できることがうれしいです。これから記録の更新を目指して頑張りたいです」





参加者募集

「SPO☆CUL IWATA」では、現在も中学生の参加者を随時募集しています。特に、城山中学校グランドで活動するソフトボールクラブ「リベル磐田」や豊田南中学校体育館・向陽中学校体育館で活動する女子バスケットボールクラブ「QUAD IWATA GIRLS」は、大会に出場するために必要な人数に達していません。参加を迷っている中学生の皆さんも、ぜひ参加してください。

申込方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

▲SPO☆CUL IWATA ロゴマーク

▲ホームページ

学校体育施設の貸し出し区分変更

令和9年4月から、これまで休日に学校部活動が使用していた時間帯の中学校体育施設を、一般にも開放する予定です。貸し出し区分も、これまでの「早朝・午前・午後・夜間」から、1時間単位に変更する予定です。

詳しい利用方法などは、決まり次第ホームページなどでお知らせします。

ページ番号
1001080・1001920

虐待のない地域を目指して

『もしかしたら?』と思ったら迷わず相談を

虐待は、している人に自覚がなかったり、受けている人が声を上げられなかったりする場合があります。早期発見には、さまざまなサインを見逃さないことが大切です。

令和7年度、市内では障がい者12件、高齢者32件の虐待に関する相談・通報がありました。

障がい者・高齢者虐待とは?

- **身体的虐待**
  たたく、ベッドに縛る、突き飛ばす
- **心理的虐待**
  怒鳴る、無視する、こども扱いする
- **経済的虐待**
  必要なお金を渡さない、年金や預貯金を無断で使う
- **放棄・放任（ネグレクト）**
  食事を与えない、医療受診をさせない、介護サービスを受けさせない
- **性的虐待**
  わいせつな行為

「虐待かも」と思ったら

障がい者や高齢者の中には、虐待を受けていても我慢している人もいます。虐待かもと思ったら、次の相談窓口へご連絡ください。通報者の秘密は守られますので、安心してご相談ください。

障がい者虐待防止センター		☎0538-84-6661
地域包括支援センター	城山・向陽地域包括支援センター	☎0538-36-4865
	中部地域包括支援センター	☎0538-37-1060
	南部地域包括支援センター	☎0538-36-8900
	豊岡地域包括支援センター	☎0539-63-0500
	豊田地域包括支援センター	☎0538-36-1300
	竜洋地域包括支援センター	☎0538-66-9221
	福田地域包括支援センター	☎0538-58-3242
磐田警察署		☎0538-37-0110
福祉相談課障がい福祉グループ		☎0538-37-4919
高齢者支援課高齢者福祉グループ		☎0538-37-2789

高齢者支援課
（iプラザ3階）
☎0538-37-2789
FAX 0538-37-6495

ページ番号
1001901

互いを理解し、支え合える地域へ

12月3日～9日は障害者週間です

障害者週間は、多くの方が「障がい者の福祉」への理解を深め、障がいがある方の社会参加への意欲を高めることを目的としています。

障がいの有無にかかわらず互いに理解し、誰もが住みやすい地域づくりを目指しましょう。

第46回 磐田ふれあい作品展

障がいがある方が制作した絵画や書道、工芸、写真などを展示します。

と　き／12月2日㈬～6日㈰
　　午前9時～午後6時
　　（土日は午後5時まで）
ところ／中央図書館



▲第45回
磐田ふれあい作品展の様子

第11回 いわたぬくまるマーケット

みんなで軽トラ市いわた☆駅前楽市の特設コーナーに福祉事業所や福祉団体が出店します。食品や小物の販売を予定しています。また、手話体験に参加された方には数量限定のしっぺいトイレットペーパーをお渡しします。



と　き／12月13日㈰ 午前9時～正午
ところ／JR磐田駅前ジュビロード
　　（のだ歯科医院前）



▲第10回
いわたぬくまるマーケットの様子

福祉相談課
（iプラザ3階）
☎0538-37-4919
FAX 0538-36-1635

ページ番号
1017086

すべての人の人権が守られる社会を目指して

12月4日～10日は人権週間です

福祉政策課
（iプラザ3階）
☎0538-37-4814
FAX0538-37-6495

人権とは

誰もが生まれながらにして、幸せに自分らしく生きていくための権利です。

誰もが幸せに暮らせる社会を実現するために、私たち一人一人が人権について正しく理解し、互いの人権を尊重する意識を持ち、行動することが大切です。

人権擁護委員が活躍しています

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間のボランティアです。法務局や自治体と連携し、人権に関するさまざまな活動を行っています。

市の人権擁護委員の活動紹介

・人権身の上相談（予約制）
・幼稚園や小中学校などでの人権教室
・人権作品コンテスト
・ジュビロ磐田と連携した啓発　など

人権週間とは

国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日の第3回総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、この日を「人権デー」と定めました。

日本では、12月4日～10日を「人権週間」と定め、全国的にさまざまな人権啓発活動を行っています。

市では、これに合わせて12月9日～13日の5日間、中央図書館にて人権作品展示会を開催します。作品に込められた思いに触れ、人権について考えるきっかけとしてぜひご来場ください。



▲ジュビロ磐田との啓発


▲人権教室

ページ番号
1001988

一人でも多くの方が安心して避難するために

自力での避難が困難な方へ

福祉政策課
（iプラザ3階）
☎0538-37-4814
FAX0538-37-6495

過去の大規模な災害では、障がいのある人や高齢者が多数犠牲になりました。この教訓を踏まえ市では、自治会、自主防災会、民生委員・児童委員などと協力して、災害時に自力で避難することが難しい方を地域で支え合う仕組みづくりに取り組んでいます。

取り組みの内容

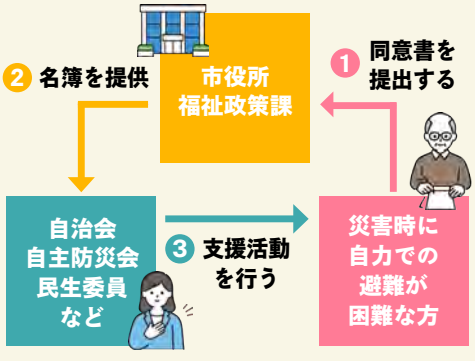
災害が起きた時に自力での避難が困難であり、施設などに入所しておらず、同居家族などがいない方のうち、同意いただいた方の情報（名前・住所・性別・生年月日・年齢・電話番号）を、地域の支援者による避難支援や安否確認などを行うことを目的に、平時から地域の支援者などに提供しています。

情報提供に同意いただくことで、災害時に地域の人からの支援を受けられる可能性が高まります。自力での避難に不安がある方は、情報提供の同意をご検討ください。

情報提供への同意方法

同意いただける方は、市ホームページまたは福祉政策課窓口にある同意書を記入の上、福祉政策課または各支所へご提出ください（自治会・民生委員などによる代理提出も可）。

※詳しくはホームページをご確認ください



ページ番号
1001711

外国人市民を知り、あいさつから始めよう

12月1日～31日は『静岡県多文化共生月間』です

自治デザイン課
（本庁舎2階）
☎0538-37-2118
FAX0538-32-2353

外国人市民も地域の一員です

市には、約50か国、約1万人の外国人市民が暮らしています。

外国人市民が日本のルール・マナーを守り、日本語を学ぶことは大切です。同時に、日本人市民も外国人市民を受け入れ、共生の意識をもつことも重要です。近年、翻訳アプリや生成ＡＩなど、コミュニケーションを助けるツールも増えています。やさしい日本語やアプリなどを使って、まずはあいさつから、外国人市民と交流してみませんか？

多文化共生に関する展示を実施します

11月28日㈮～12月24日㈬、中央図書館で、多文化共生に関する展示を実施します。外国人に関連する驚きや、心が温まるエピソードを掲載する「世界！びっくり・ふしぎ・ほっこりエピソード展（袋井市企画）」や、中央図書館に所蔵されている多文化共生に関係する図書を展示します。



▲展示の一例

多文化共生クイズ

磐田市外国人情報窓口が運営する外国人市民向けSNSで4月～9月に一番閲覧された投稿は次のうちどれ？

① 花火大会のお知らせ
② 昭和の日の紹介
③ 台風第6号の注意喚起

正解は②です。外国人市民の皆さんは、日本の文化や祝日に興味をもち、積極的に知ろうとしています。私たち日本人市民も、もっと外国人市民のことを知ってみませんか？

ページ番号
1014173

リユースで530（ごみゼロ）を目指そう！

リユースサイトを活用しましょう

ごみ資源循環課
（クリーンセンター内）
☎0538-37-4812
FAX0538-36-9797

市のリユース事業

リユースとは、使用済みの製品を繰り返し使用することです。市は「ジモティー」と「おいくら」のそれぞれと協定を締結し、ごみの減量を目指しています。

地域情報サイト「ジモティー」とは？

登録することで個人でも不用品の取り引きができるサービスです。地区ごとに検索できるので、受け取りに来てもらえる範囲で譲り先が見つかります。

また、市でも磐田市クリーンセンターに搬入された木製家具・収納ケースや、粗大ごみの戸別収集で回収したごみの中で再利用できる物を搬入者・依頼者の承諾を得てジモティーホームページへ出品し、必要な方に無料で譲渡しています。

ジモティー
▲ジモティー

一括査定比較サイト「おいくら」とは？

不用品の買い取り価格をまとめて比較し、売却できるサービスです。

「おいくら」を通じて依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップが一括査定します。一度の依頼で買い取り価格をまとめて比較し、売却できる手軽なツールです。



おいくら？
▲おいくら

ページ番号
1017017

ウォーキングフットボール大会

「ウォーキングフットボールを体験してみませんか」

スポーツのまち推進課（本庁舎2階）
☎0538-37-4832
FAX0538-37-5034

ウォーキングフットボールとは？

歩いて行うサッカーのことです。年齢や性別、運動経験や障がいの有無にかかわらず、こどもから高齢者まで誰もが安心して楽しむことができるスポーツとして健康や交流の促進を目的に親しまれています。

市では、市民の健康増進や多世代交流促進を目的として、ウォーキングフットボールの普及活動をジュビロ磐田や静岡ＳＳＵボニータ、静岡産業大学などと協力して取り組んでいます。

大会参加者を募集します

開催日
12月19日㈯
※受け付けは試合時間の45分前から
※小雨決行します

会場
磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場

部門
①体験会チーム申し込み部門
（ＪＦＡ推奨ルール）
試合人数／1試合5人（ＧＫなし）
申込人数／5人以上
試合時間／9時30分～正午
参 加 料／無料

②体験会個人申し込み部門
（ＪＦＡ推奨ルール）
試合人数／1試合5人（ＧＫなし）
申込人数／1人
試合時間／9時30分～正午
参 加 料／無料

③競技部門チーム申し込み
（世界大会ルール）
試合人数／1試合6人（ＧＫあり）
申込人数／6人以上
試合時間／正午～16時
参 加 料／1チーム5千円

※1チームあたり①と②は3試合、③は4試合を予定
※申し込み方法など詳しくは市ホームページをご覧ください

ページ番号
1008318

第27回静岡県市町対抗駅伝競走大会

「磐田市の代表をみんなで応援しよう」

スポーツのまち推進課（本庁舎2階）
☎0538-37-4832
FAX0538-37-5034

静岡県市町対抗駅伝競走大会が、今年も開催されます。第27回大会となる今回は12月5日㈯午前10時に静岡県庁前をスタートします。

昨年は市の部11位という成績を収めました。今年も襷を繋げられるよう、6月から毎週、磐田市陸上競技場などで練習を重ねてきました。選手の努力とチームワークでゴールを目指します。

監督



伊藤 裕子
子育て支援センター ととことこ

コーチ



長谷川 幸和
ヤマハ発動機 ビズパートナー

みんなの頑張る気持ちをつないで、最後まであきらめないで走りきります。応援よろしくお願いします。

チームのユニフォーム▶



磐田市チーム登録選手紹介（令和8年11月1日時点）


山田 湊
東部小6年


加藤 晴翔
磐田西小4年


松本 唯愛
豊田南小5年


南牟禮 桜香
豊田東小6年


山田 実和
豊田南小6年


平野 空哉
豊田南中3年


望月 陽向
豊田中2年


中村 実莉
豊岡中3年


山中 穂乃花
豊田中3年


黒田 舞有
向陽中2年


河合 拓杜
浜松開誠館高3年


温井 康太
浜松日体高1年


横田 静玖
磐田西高2年


小林 桜空
常葉大附属菊川高3年


宮嶋 萌衣
常葉大附属菊川高2年


鈴木 陽道
ANA


対馬 和都
DOWAテクノロジー


鈴木 理瑚
浜松特別支援学校


高橋 果奈


鈴木 清志
浜松ホトニクス


川崎 健太
SMILEY